2021年(令和3年)12月7日(火曜日)　中日新聞

住民と防火啓発

日進で尾三消防

尾三消防本部(本部・東郷町)は、乾燥して火災の多くなる年末の三～十五日、管内五市町で地域住民と一緒に巡回などを行う放火防止対策運動を実施している。管内ではすでに先月末時点で八十八件の火災が発生。昨年同期に比べて七件少ないが、火災原因の一位となる放火とその疑いは十七件で六件増加している。

初日の三日には、日進市の浅田区民会館に「浅田町安心安全なまちづくり」メンバーら約三十人が集合。同本部予防課職員から放火の要因や住宅用防災機器などの説明を受け、地域巡回に出発。細い路地に面した住宅街を約二十分歩き、垣根が高く外から見えづらい家や竹やぶなど放火の可能性の高い場所を確認した＝写真。

浅田地区は、青色回転灯の車(青パト)で週一度一日中、区内を巡回しているほか、七台の軽トラックが青色灯を付けて毎日回っており、防犯意識の高い地区。浅井宏文区長(六七)は「これからもチームワークで防犯や火災予防に努めたい」と話していた。

(平木友見子)